令和５年度　公益財団法人栃木県スポーツ協会事業計画

基　本　方　針

近年、社会のスポーツへの関心や期待が高まっている中で、県民のスポーツ活動に対するニーズはますます増大し、かつ多様化している。そこで、栃木県が策定した栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」のめざすとちぎの将来像である「人が育ち、地域が活きる　未来に誇れる元気な“とちぎ”」や「栃木県スポーツ推進計画 2025（とちぎスポーツ推進プラン）」の基本理念である「スポーツを通じて夢や感動を共有しスポーツで人生を豊かにする“とちぎ”の実現」に向け、スポーツを通じた人づくりとスポーツの振興を図ることとする。

このため、「スポーツ参画人口の拡大」と「スポーツ施設の充実とスポーツによる地域活性化」を図りながら、「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会や国際大会等で活躍する選手の育成」を目指して、各種事業を推進する。

令和５（2023）年度は、加盟団体をはじめ関係機関・団体との緊密な連携のもと、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら、県民スポーツ大会の開催、スポーツ少年団の育成強化、総合型地域スポーツクラブの育成、スポーツ指導者の育成及びスポーツ国際交流等の諸事業を推進し、スポーツの普及と充実を図る。

また、第７７回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」のレガシーを継承し、県と連携を図りながら競技力向上事業を推進する。

これらの諸事業を推進するための拠点施設として、栃木県総合運動公園北・中央エリアの運動施設、とちぎスポーツ医科学センター、今市青少年スポーツセンターの利用促進や適切な維持管理に努める。

１　スポーツ振興事業

(1)　各種大会開催事業

ア　栃木県民スポーツ大会の開催

「県民ひとり１スポーツ」の推進をスローガンとして、広く県民へのスポーツ振興を図り、生涯にわたる健康や体力の保持増進を図るとともに、明朗にして連帯感あふれた活力ある地域づくりに寄与することを目的として開催する。

①　大会

大会は、地方大会（市町大会）と中央大会とし、市町は中央大会の予選として市町大会を開催する。

②　中央大会実施競技

対抗競技　１８競技　　オープン競技　６競技（予定）

第１日　　令和５（2023）年１０月１５日（日）　陸上競技ほか

第２日　　令和５（2023）年１０月２２日（日）　バレーボール競技ほか

③　総合表彰式　令和５（2023）年１２月　１日（金）

総合優勝、総合準優勝・総合第３位及びスポーツ奨励賞の市町を表彰する。

⑵　スポーツ医・科学事業

県からスポーツ医・科学サポート事業の委託を受け、国体強化における効果的なスポーツ医科学支援の在り方に向けた調査研究やサポート体制の構築及び競技団体へのトレーナーの派遣を実施する。

ア　トレーナー帯同事業

国民体育大会本大会等において、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう（公財）日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー等を派遣し、選手のサポートをする。

イ　国体選手の健康管理調査

健康管理調査研究班員会を中心に、国体に参加する選手の健康状態を確認し、日頃のトレーニングや大会参加中の事故防止に万全を期すと同時に、県内の(公財)日本スポーツ協会公認スポーツドクター並びにスポーツファーマシストとの連携を図る。

ウ　国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発活動

国体におけるドーピングコントロール実施に伴い、健康管理調査研究班員会を中心に、国体に参加する選手、監督・コーチを対象に薬の乱用・誤用防止の認識を高めるために研修会等を開催して、健全なスポーツ活動を推進する。

エ　女性アスリートサポート支援

女性アスリート特有のスポーツ障害を予防し、競技力向上が図れるようとちぎスポーツ医科学センターが実施する問診・血液検査・各種サポートに協力する。

オ　とちぎスポーツ医科学サポート体制構築

スポーツ医・科学の知見を活用し、選手が国体や各種大会において最高のパフォーマンスを発揮することができるよう、とちぎスポーツ医科学センターの活用を図るとともにサポート体制を構築する。

⑶　顕　彰　事　業

本県体育・スポーツの振興に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を称え表彰する。

ア　スポーツ功労賞

地域職域等において、指導者等として永年にわたってスポーツの普及・発展に貢献した者、加盟団体等の役員・指導者として振興･発展に貢献した者を表彰する。

イ　スポーツ優良団体賞

地域社会・職場職域等において、永年にわたってスポーツの普及・振興に貢献した団体を表彰する。

ウ　スポーツ優秀選手賞

国際大会に出場及び日本選手権大会で優勝並びに国際大会で優秀な成績を残した選手または、チーム及びチームの一員として参加した選手を表彰する。

エ　船田スポーツ賞

若手指導者として本県スポーツの競技力の向上に貢献した者を表彰する。

オ　国民体育大会優秀団体･監督・選手賞

国民体育大会において、優秀な成績を残した監督・選手に対して感謝状を贈呈する。

カ　栃木県中学校スポーツ最優秀賞（星功賞）

心身ともに健康な中学生を対象に全国大会で２位以内の成績を収め、本県中学校スポーツの振興に貢献のあった個人又は団体を、(公財)栃木県スポーツ協会及び栃木県中学校体育連盟の連名で、表彰する。

⑷　スポーツ指導者育成事業

本県スポーツの一層の振興を図るため、多様化・高度化した県民のニーズに応え、適切な指導のできる地域スポーツ指導者を育成する。

ア　公認コーチ１・コーチ２養成講習会の開催

地域において、スポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で特定競技種目の基礎的なスポーツ技術や一般的な身体活動の指導を行う指導者の養成を目的として実施する。

イ　スポーツ指導者研修会の開催

(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の一層の資質向上と指導活動の充実を図るため、指導者のニーズに応じた講演・実技研修等を内容とするスポーツ指導者研修会を開催する。

期　　日：令和５（2023）年７月２日（日）、令和６（2024）年２月４日（日）
会　　場：栃木県総合運動公園武道館

また、スポーツ協会独自で講習会を開催し、指導者の資質向上を図る。　３種　・５講座
・トレーニング指導者講習会　　１講座
・競技別オンライン講習会　　２競技　・２講座
・測定員養成講習会　　２講座

⑸　広報事業

本協会活動状況、主催事業等を積極的に広報するとともに、県内のスポーツ情報を収集し、広く県民に情報提供することに努め、県民の理解と協力を得る。

ア　とちぎスポ協だよりの発行
イ　スポ協アワー（栃木放送）による広報
ウ　イベントニュース（栃木県総合運動公園行事案内）の発行
エ　今市青少年スポーツセンターパンフレットの発行
オ　ホームページによる広報
カ　その他新聞・放送等の媒体による広報
キ　SNS を通したとちぎスポーツ医科学センターにおける施設周知及びスポーツ医科学の知見に基づいた情報の提供

⑹　スポーツ教室開催事業

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設する。

〇　スポーツ教室種目　　５種　・５講座
〇　スポーツ教室種目（とちぎスポーツ医科学センター実施）　１種　・１講座
〇　とちぎの子ども元気塾事業

将来を担う子どもたちに身体を動かす楽しさを体験させ、子どもたちの発育・発達に応じたスポーツの基礎づくりを行う。

また、加盟団体と連携することにより多様なプログラムを子どもたちに提供し、これからの栃木県スポーツを支えるタレント発掘を目的とする。

期　　日：令和５（2023）年６月～令和６（2024）年１月
会　　場：栃木県総合運動公園、今市青少年スポーツセンター他
対　　象：小学校１年生～３年生）
対象人数：５０名程度

⑺　総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

生涯スポーツ社会の実現を図るため、県と連携して、とちぎ広域スポーツセンター事業を展開することにより、子どもから高齢者まで、誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行い、地域住民による自主運営のスポーツクラブの組織化・定着化を推進する。

ア　とちぎ広域スポーツセンター委託事業

〇　中間支援組織の整備・運営
〇　現地ヒアリング
〇　クラブ運営の充実を図ることを目的とした講習会の開催

○　スポーツリーダーバンク運営

イ　クラブアドバイザー配置事業

ウ　栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

総合型クラブの質の向上やクラブ間の連携推進、情報共有等を実施する。

○　地区協議会

総合型クラブの普及・啓発及び運動未実施者の掘り起こしを目的としたイベントを開催する。

２　スポーツ少年団育成事業

⑴　スポーツ少年団組織運営事業

スポーツ活動を通じて、次代を担う青少年の健康な身体と心を育てるとともに、地域社会における豊かな人間関係や連帯感の醸成のため、市町のスポーツ少年団指導者・団員の登録並びに母集団を育成し、指導者・リーダーの養成及びスポーツ少年団活動の一層の充実を図る。

○　市町におけるスポーツ少年団組織の充実

市町スポーツ少年団組織の整備と充実を図るため、スポーツ少年団委員総会・指導者協議会等を開催するとともに、日本スポーツ少年団及び各都道府県スポーツ少年団との連携充実に努める。

⑵　スポーツ少年団指導者・リーダー育成及び派遣事業

スポーツ少年団活動の充実を図るため、指導者及びリーダーの養成と資質の向上を目的とする講習会・研修会を開催するとともに、中央事業への派遣を実施する。

①　講習会・研修会等の開催

○　栃木県スポーツ少年団指導者研修大会

令和５(2023)年１２月９日（日）　ユウケイ武道館

対　象：スポーツ少年団の育成・指導にあたっている指導者、団活動に関わる者

○　関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

令和５(2023)年１１月４日（土）～１１月５日（日）　川越プリンスホテル（埼玉県）

対　象：関東ブロック各都県を代表するスポーツ少年団登録指導者

○　ジュニア・リーダースクール

令和５(2023)年７月１５日（土）～７月１７日（月）　今市青少年スポーツセンター

対　象：市町の推薦を受けたジュニア・リーダー候補者（中学生団員）

○　リーダーズクラブ研修会等

１泊２日の宿泊研修を含め年間４回

対　象：リーダーズクラブ会員

②　スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会

・中央開催（３コース）

県１コース

期　日：令和５(2023)年７月２９日（土）

会　場：ユウケイ武道館

県２コース

期　日：令和５(2023)年１０月１日（日）

会　場：ユウケイ武道館

県３コース

期　日：令和５(2023)年１２月１７日（日）

会　場：ユウケイ武道館

③　中央事業への派遣

○　シニア・リーダースクール

期　日：令和５(2023)年８月　９日（水）～１２日（土）

会　場：国立中央青少年交流の家

④　ＡＣＰ普及促進研修会
期　日：令和５(2023)年１０月２１日（土）
会　場：今市青少年スポーツセンター

⑶　スポーツ少年団大会開催・派遣事業
全国または関東大会等に代表者を派遣し、その交流活動を通じてスポーツ技術と資質の向上を図り、各地域におけるスポーツ少年団活動の向上に資する。

ア　第６１回全国スポーツ少年大会
期　日：令和５(2023)年８月４日(金)～８月７日(月)
会　場：国立淡路青少年の家（兵庫県）

イ　全国スポーツ少年団競技別交流大会（軟式野球・バレーボール・剣道）
①　軟式野球　期　日：令和５(2023)年８月３日（木）～６日（日）
会　場：大谷津運動公園野球場（千葉県）他
②　バレーボール　期　日：令和６(2024)年３月２８日～３１日（日）
会　場：宮城県
③　剣　　道　期　日：令和６(2024)年３月２９日（金）～３１日（日）
会　場：群馬県

ウ　全国スポーツ少年団リーダー連絡会
期　日：未定
会　場：オンライン開催

エ　第４２回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会
①　総合開会式　期　日：令和５(2023)年７月２８日（金）
会　場：東京都
②　軟式野球　期　日：令和５(2023)年７月１６日（日）～１７日（月）
会　場：東京都
③　バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道
期　日：令和５(2023)年７月２９日（土）～３０日（日）
会　場：エスフォルタアリーナ八王子（東京都）他

オ　第５４回関東ブロックスポーツ少年大会
期　日：令和５(2023)年９月１６日（土）～１８日（月）
会　場：自然体験交流センター（栃木県）

カ　第２２回関東ブロックリーダー研究大会
期　日：未定
会　場：茨城県

キ　競技別交流大会
軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・卓球・剣道・柔道・バドミントン・空手道の８競技について、各関係競技団体の協力を得て組織された専門部を中心に、各交流大会の充実に努める。

ク　交歓会
市町の小学生団員の代表を対象とし、野外活動や文化活動による交流活動を通して、友情や自立・奉仕の精神を養い、地域における団活動の充実に資する。
期　日：令和５(2023)年７月１５日（土）～１７日（月）
会　場：今市青少年スポーツセンター

⑷　スポーツ少年団国際交流事業
スポーツ少年団の発展を目的に世界的視野を持った将来のリーダーを育成するために、(公財)日本スポーツ協会が実施するスポーツ少年団リーダー等の海外派遣及び受入れを行う。
日独スポーツ少年団のリーダー達が相互交流（派遣・受入）することによって、スポーツ少年団

活動の活性化を図るとともに２１世紀を担う国際的な視野を持った青少年を育成することを目的として実施する。

期　日：令和５(2023)年７月２７日（木）～８月１４日（月）　派遣　ドイツ各地
令和５(2023)年７月２６日（水）～８月１１日（金）　受入　日本各地

⑸　スポーツ少年団顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位スポーツ少年団並びに指導・育成に貢献し、功績のあった登録指導者を表彰する。

３　競技力向上事業

平成２８年(2016)度まで、国民体育大会において常に上位の成績を狙えるよう競技力の向上に努めるとともに、国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成を図るため各種事業を推進してきたが、平成２９(2017)年度からは、選手育成強化事業が県へ一元化することに伴い、この事業を一部を除き休止とした。

なお、国体選手等派遣事業については、競技力向上事業として、競技団体及び関係機関・団体と緊密な連携を図りながら事業を推進する。

また、スポーツ医・科学サポート事業（県委託事業）をスポーツ医・科学事業の中で実施する。

⑴　国体選手等派遣事業

広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図ることを目的として開催される国民体育大会に、本県選手団を派遣し、併せて大会で活躍した選手等を奨励することにより、県内の競技力向上とスポーツ振興に寄与する。

ア　国民体育大会栃木県選手団本部運営

国体本大会等への参加にあたり、選手・監督・関係者による「栃木県選手団」を結成し、結団式や指定証授与式の開催、各種大会への派遣・同行、その他関係機関との連絡調整など選手団本部運営に係る事務を行う。

イ　国民体育大会派遣費の補助

参加資格を有する者として競技団体が選考した選手等の国体本大会(先行競技を含む)、冬季大会、関東ブロック大会への派遣に要する経費（旅費、宿泊料等）の全部又は一部を補助する。

ウ　国民体育大会栃木県予選会開催経費の補助

競技団体が主催する当該年度の国体予選会の開催に要する経費（会場使用料）の一部を補助する。

エ　スポーツ指導員配置

県からの助成を受け、優れた競技技術・経験を有するものを「スポーツ指導員」として任用し、強化練習会等での本県選手への指導・助言、拠点校での部活動のサポート及び選手としての競技力向上を通じ、本県競技力の一層の向上を図る。

⑵　選手育成強化運営事業（競技用具貸与支援のみ継続）

⑶　指導者養成事業（H29(2017)より休止）

⑷　選手育成強化補助事業（H29(2017)より休止）

令和５(2023)年度　国民体育大会

(1)　関東ブロック大会（埼玉県）

ア　実施競技

○　本　大　会　競　技　　３１競技
○　冬 季 大 会 競 技　　１競技
　　３２競技

イ　会期

○　本　　大　　会　　令和５(2023)年　６月　３日（土）～　８月２８日（月）

○　冬　季　大　会　　令和５(2023)年１２月　１日（金）～１２月１７日（日）
予定

(2)　国民体育大会

ア　本大会（特別大会　鹿児島県）　会期前　令和５(2023)年　９月１６日（土）～　９月２４日（日）

中心会期　令和５(2023)年１０月　７日（土）～１０月１７日（火）

イ　冬季大会（第７８回大会）

○　スケート競技会（北海道）
　　令和６(2024)年　１月２７日（土）～　２月　３日（土）

○　ｱｲｽﾎｯｹｰ競技会（北海道）

○　スキー競技会（山形県）　　令和６(2024)年　２月２１日（水）～　２月２４日（土）

４　今市青少年スポーツセンター事業

スポーツを通じて青少年の健全育成と地域スポーツの振興、また、生涯スポーツ並びに競技スポーツの実践拠点として、施設の有効利用と適正な管理運営を図る。

(1)　スポーツ教室開催事業

スポーツ教室種目（春：５月～７月、秋：９月～１１月）　４講座

・ピラティス　　２講座（春、秋：夜間）
・筋力アップトレ&美温活　　２講座（春、秋：昼間）

(2)　県民の日協賛イベント及び施設無料開放

県民の日協賛事業として、施設を一般に開放するとともに各種スポーツの無料体験を実施する。

○　開 放 日：令和５(2023)年６月１１日（日）
○　内　　容
・各施設の無料開放
・小学生ホッケーセミナー
・スポーツ教室の無料体験（ピラティス、筋力アップトレ&美温活の開催）

(3)　施設貸与事業

宿泊利用者や外来利用者（日帰り）に、スポーツ施設の貸出を行う。

令和５(2023)年度予定人数（目標）

・宿泊利用者　　１０，０００人

・外来利用者　　１００，０００人

(4)　施設管理事業

利用者の安全と利用人員の増加を図るため、施設管理・環境整備を行う。

ア　ホッケー日本リーグ及び各種ホッケー大会に向けた施設管理

イ　スケートリンクの整氷及び冷凍機の管理

ウ　環境整備

・各競技場の清掃、除草作業、芝刈り

・倒木の撤去、伐採作業

(5)　日光市ホッケー場管理運営業務（受託事業）

日光市から委託を受け、日光市ホッケー場の受付確認や施設管理 ・施設整備事業を行う。

５　栃木県総合運動公園北・中央エリア内スポーツ施設の管理運営及びとちぎスポーツ医科学センター運営事業

昨年開催された国民体育大会・全国障害者スポーツ大会により得られたレガシーを継承し、県民へスポーツ活動の場を提供するなど、県民の健康増進や競技力向上に寄与する目的を達成するため、「栃木県総合運動公園北・中央エリア管理運営業務」及び「とちぎスポーツ医科学センター運営業務」を行う。

(1)　栃木県総合運動公園北・中央エリア管理運営事業

ア　施設管理業務

栃木県総合運動公園陸上競技場、栃木県総合運動公園武道館等の有料運動施設、とちぎスポーツ医科学センターの維持管理及び施設周囲の環境整備を行う。

イ　有料運動施設等の利用の許可に関する業務

栃木県総合運動公園北・中央エリア等の円滑な運営及び適切な利用が図られるよう、有料運動施設の利用受付、利用許可、利用料の徴収、利用調整等の業務を行う。

ウ　栃木県総合運動公園北・中央エリア等の運営に関する業務

利用者の利便性向上、利用促進を図るため、利用受付・案内業務、広報誌の作成・配付、ホームページ等による周知を行う。

エ　会議の開催

【北・中央エリア】

・　有料施設利用調整会議（１回）

・　栃木県スポーツ施設協会役員会（理事会）（１回）

・　栃木県スポーツ施設研究協議会（１回）

・　第８４回全国スポーツ施設研究協議大会実行委員会（１回）

【武道館】

・　有料施設利用調整会議（１回）

・　全国都道府県立武道館協議会共催事業

地域社会武道指導者研修会　「少林寺拳法(１回)」「合気道(１回)」「弓道(１回)」

地方青少年武道錬成大会　　「なぎなた（１回)」

【総合運動公園指定管理者】

・　情報交換会（１２回）

オ　前各号に掲げる業務のほか、指定管理者が栃木県総合運動公園北・中央エリア等の管理上必要と認める業務のうち知事のみの権限に属するものを除く業務を行う。

カ　自主事業の充実

国体レガシーの継承とスタジアム等の利用促進のため、各種自主事業を行う。

⑵　とちぎスポーツ医科学センター運営事業

ア　測定に基づくスポーツ医科学に関する業務

対象選手の体力測定等を行い、測定結果をもとに各分野の専門家による「トレーニング・リハビリテーション指導」「医事相談」「栄養指導」「心理指導」「女性アスリートサポート」等を実施する。

イ　スポーツ医科学に関する情報の発信

スポーツ医科学に関する情報やセンターに関する情報をホームページ等により発信する。

ウ　会議の開催

・とちぎスポーツ医科学センター運営委員会（３回）

・とちぎスポーツ医科学センター倫理審査委員会（年数回開催予定）

エ　前各号に掲げる業務のほか、センター利用者の拡大につながる業務を行う。

６　スポーツ安全協会委託業務

（公財）スポーツ安全協会から委託を受ける、スポーツ安全保険の普及に関する業務等を行う。

７　飲食物等販売事業及び施設等収益事業

運動施設利用者の便益供与とサービスの向上を図るため、今市青少年スポーツセンター及び栃木県総合運動公園北・中央エリア内スポーツ施設において飲食物等の販売事業を行う。

また、栃木県総合運動公園北・中央エリア内スポーツ施設における公益目的以外の利用に対し、利用受付、利用許可、利用料の徴収、利用調整等の業務を行う。

当事業の利益の一部は、公益目的事業に充当する。

８　協会運営

本協会の運営について、基本的事項を協議するとともに事業を遂行するため次のとおり、理事会等を開催する。

⑴　理事会（３回）

⑵　評議員会（２回）

⑶　専門委員会

ア　総務委員会（３回）

イ　スポーツ医・科学委員会（３回）

ウ　競技力向上委員会（休止）

⑷　賛助会

県民総スポーツの振興が果す社会的役割と、これを推進する本協会の諸事業について県民各層の理解を得るとともに、事業実施に必要な資金を調達し財政確立を期するため、企業団体、加盟団体、個人会員等に働きかけ、賛助会員の加入促進を図る。

⑸　国際交流事業

①　日韓・日中・日露スポーツ交流事業・地域交流推進事業を行う。

⑹　スポーツコミッション事務

① 県のスポーツコミッション事業の事務を一部分担して行う。